

施策番号	0401		
施策名	いきいきと活動する地域コミュニティづくり		
概要	住みよいまちづくりの基本となる地域コミュニティの活性化に向けて、まちづくりアドバイザーの助言や地域におけるさまざまな居場所づくりなどの支援を行う。		
担当局・部室	文化市民局・地域自治推進室	共管局・部室	
上位政策	4 市民生活とコミュニティ		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市地域コミュニティ活性化推進計画		

施策の評価

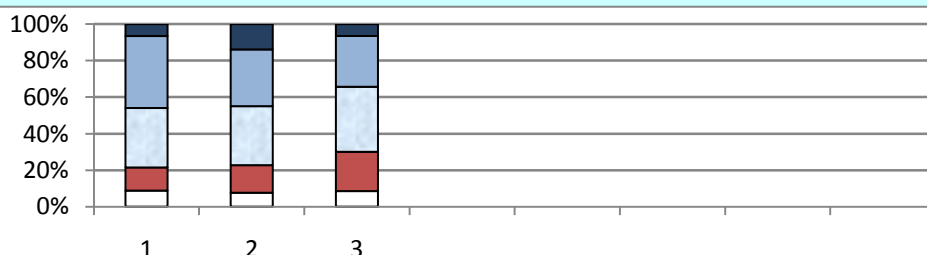
1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	地域活動の担い手づくりを主目的とした講座等への参加者数(人)	-	d	390	457	700	65.3%	c	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			d	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも言 えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	地域の一員として安心してらせるまちになっている。	37 6.5%	224 39.4%	185 32.6%	72 12.7%	50 8.8%	568	c
2	町内会、自治会など地域の組織の活動が盛んである。	78 13.9%	175 31.1%	182 32.3%	85 15.1%	43 7.6%	563	c
3	地域のひとが、環境や子育て、青少年の育成などの地域の課題に、自分たちで取り組んでいる。	35 6.5%	150 27.8%	192 35.6%	116 21.5%	46 8.5%	539	c
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらとも言えない
- どちらかというと思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					23 年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	C	☒ 市民の実感	C		
(重み付けの理由) 地域コミュニティは共同体意識を基礎とするため、「市民の実感」に重みを置く。							
(原因分析) ・客観指標について、やや講座等への参加者は増えたものの、講座等が全市的な実施には至っておらず、目標値を下回っている。 ・市民の実感については、地域の安心感や地域活動の活性化は半数近くの方が実感しているが、地域の課題を主体的に解決する力も含めて広く実感される段階には至っていない。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	京都市内周辺地域における認可地縁団体等乗合バス運行補助	1,215	1,260	普通	文化市民局
2	市政協力委員経費	254,599	255,024	良い	文化市民局
3	集会所新築等補助金	22,244	30,640	かなり良い	文化市民局
4	京北地域活性化支援事業助成	8,219	8,294	良い	文化市民局
5	小金塚地域バス路線転回場賃借料負担金	2,180	2,300	良い	文化市民局
6	北区北部山間いきいき大作戦「エコツーリズムキャンペーン」	3,771	—	かなり良い	区役所
7	静原地域のまちづくり	5,480	—	良い	区役所
8	人口増加に対応した地域活動の支援事業	2,053	—	普通	区役所
9	東山区民ふれあいこどものまち	3,429	—	普通	区役所
10	南区地域コミュニティ育成支援事業	4,098	—	かなり良い	区役所
11	南区企業の“知”活用促進事業	3,999	—	かなり良い	区役所
12	洛西ニュータウンのこれからのまちづくり～もっともっと魅力あるまちをめざして～(『洛西ニュータウン』創生のまちづくり～住民が主役でまちの魅力を高めよう～)	8,546	—	かなり良い	区役所
13	「地域力」育成支援事業	4,067	—	良い	区役所
14	深草管内商店街活性化事業	9,353	—	かなり良い	区役所
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・地域力がより一層実感されるよう、地域コミュニティ活性化を支援するための助成制度の創設などにより、地域活動の担い手づくり、地域とNPO等との連携促進、集合住宅と地域の交流促進等の取組を進める。また、チラシの配布やポータルサイトの構築、シンポジウムの開催などにより、市民への啓発や情報発信に取り組んでいく。

施策名	0401	いきいきと活動する地域コミュニティづくり				
指標名	地域活動の担い手づくりを主目的とした講座等への参加者数(人)					
担当課	地域自治推進室		連絡先	2 2 2 - 3 0 4 9		
1 指標の説明						
区役所・支所，京都市市民活動総合センターで実施する，地域活動の担い手づくりを主目的とした講座等への参加者数						
2 指標の意味						
住民が主体的に課題に取り組むまちづくりに向けて，住民の地域活動への関心の高まりを示す指標				3 算出方法・出典等		
				算出方法：区役所・支所，市民活動総合センターへの調査		
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	390	457	67件増	700	1学区あたり概ね3人参加 (全市222学区×3人＝666人÷700人)	65.3%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値が a：700人以上 b：550人～699人 c：400人～549人 d：250人～399人 e：249人以下			6 基準説明 目標値をaとし，以下150人刻みで基準を設定した。			
7 評価結果						
		23	24			
-	d	c				